

死亡診断書

一、氏名 後藤 正一

二、男女ノ別 男

三、出生ノ年月日 大正拾年六月拾日

四、職 業 第六十三師團獨立歩兵第十二大隊第五中隊

五、病死自殺其他 陸軍上等兵

六、病死 病 死

七、病 腸チフス

八、發病ノ年月日 昭和十九年十一月十七日

九、死亡ノ年月日時 昭和十九年十二月七日午前六時零分

十、死亡ノ場所 神繩縣中頭郡北谷村字北谷第六十三師團野戰病院

右證明候也

昭和十九年十二月七日

第六十三師團野戰病院長 陸軍軍醫少佐 熊倉

寛

第六十三師團野戰病院長 陸軍軍醫少佐 熊倉 寛
昭和十九年十一月十七日 午後六時零分
第六十三師團獨立歩兵第十二大隊第五中隊
陸軍上等兵 後藤 正一
病 腸チフス
昭和十九年十二月七日 午前六時零分
神繩縣中頭郡北谷村字北谷第六十三師團野戰病院
死亡ノ場所
昭和十九年十一月十七日
發病ノ年月日
腸チフス
病
病死
陸軍上等兵
第六十三師團獨立歩兵第十二大隊第五中隊
職 業
大正拾年六月拾日
出生ノ年月日
男
男女ノ別
後藤 正一
氏名

第六十二師團 陸軍省 陸軍省 陸軍省 陸軍省

昭和十七年十一月六日

第六十二師團 陸軍省 陸軍省 陸軍省 陸軍省

昭和十七年十一月九日

昭和十七年十一月十六日

昭和十七年十一月十六日

昭和十七年十一月十六日

昭和十七年十一月十六日

昭和十七年十一月十六日

昭和十七年十一月十六日

昭和十七年十一月十六日

昭和十七年十一月十六日

昭和十七年十一月十六日

昭和十七年十一月十六日

諸給與金證明書

本籍地
現住所



所屬部隊 第六十二師團獨立歩兵第十二大隊第五中隊

官氏名 陸軍上等兵 後藤正一

右者ニ對スル昭和十七年一月三十一日陸軍省告示第二號大東亞戰役ニ係ル死没者特別賜與規定第二條第二項諸給與金ハ支給シアラザルコトヲ證明ス

昭和十九年十二月七日

獨立歩兵第十二大隊長 賀谷與吉

陸軍省 陸軍部 庶務課 庶務課長 庶務課長 庶務課長

起用紙

發給 石師野人恩第11號 昭和20年2月 27日 發送者 海軍省

師團長	參謀長	副官	部長	連帶者	主任
	⑤				

宛名 東部軍留守部長
 件名 沖繩縣出身將兵ニ對スル恩典退職(普通)賞與書類送付ニ
 發給者 石第一八八部隊參謀長

敘位敘勲上申資料ノ送付ニ関スル件照會
 隷下部隊ニ於ケル沖繩縣出身將兵ニ對スル恩典退職(普通)賞與書類送付ニ
 關スル件照會
 沖繩縣出身將兵ニ對スル恩典退職(普通)賞與書類送付ニ
 關スル件照會

沖繩縣出身將兵ニ對スル恩典退職(普通)賞與書類送付ニ
 關スル件照會
 沖繩縣出身將兵ニ對スル恩典退職(普通)賞與書類送付ニ
 關スル件照會

陸軍

沖繩縣出身將兵ニ對スル恩典退職(普通)賞與書類送付ニ
 關スル件照會
 沖繩縣出身將兵ニ對スル恩典退職(普通)賞與書類送付ニ
 關スル件照會

左記

一、恩典書類ハ各一部貴部ニ送付スル他留守業務規程
 第十八條一ノ二ニ示ス所要部數ヲ沖繩縣隊司令部ニ
 直送ス

二、退職(普通)賞與調書ハ一部留守部ニ送付スル他一部ヲ
 沖繩縣隊司令部ニ直送ス

三、敘位敘勲上申資料ハ一部留守部ニ送付スル他一部
 沖繩縣隊司令部ニ直送ス

四、昭和十九年陸軍第七七六號第二條ニ依ル戰時死亡者生死不
 明者ノ通牒ハ一部留守部ニ他同文ノモノヲ沖繩縣隊司令部
 司令官ニ直送ス(沖繩縣出身將兵ノ死亡者ノ遺骨ハ死亡
 ノ月若クハ其翌月中ニ遺族ニ交付セラルルモ死亡ノ公文ヲ貴
 留守部ニ送付スルハ更ニ其翌月トナラセハ聯隊司令部ニ送
 付シ遺族ニ傳達セラルス)

陸軍

出陣時ニ當兵團ハ神繩本島ノ防衛ニ任シテ以テ之カ
關係書類ノ送付ニ關シテハ左記ニ依リ實施致度意向ナ
モ貴意承リ度照会ス

左記

一 恩典書類ハ各一部貴部ニ送付スル他留守業務規程
第十八條一ノ二ニ示ス所要部数ヲ神繩聯隊司令部ニ
直送ス

二 退職(普通)資與調書ハ一部ヲ留守部ニ送付スル他一部ヲ
神繩聯隊司令部ニ直送ス

三 敘任敘惠上申資料ハ一部ヲ留守部ニ送付スル他一部
神繩聯隊司令部ニ直送ス

四 昭和十九年陸達第七七號第二條ニ依ル戦時死亡者生死不
明者ノ通牒ハ一部ヲ留守部ニ他ニ同文ノモノヲ神繩聯隊司令部
ニ直送ス(沖繩縣出身ノ將兵ノ死没者ノ遺骨ハ死亡
司令部ニ直送ス)

陸軍

ノ月若クハ其翌月中ニ遺族ニ交付セラルルモ死亡ノ公文ヲ貴
留守部ヲ經由スルキハ更ニ其翌月トナラセハ聯隊司令部ヨ
リ遺族傳達セラレタ

五 靖和社合祀書類ハ直接聯隊司令部ニ送付ス

六 前項ノ書類ハ總テ當司令部ヲ經由シ貴部ニ送
付スルニ關シテハ聯隊司令部ニ直送セン書類ノ奔翰
年月日、奔翰番號、書類内容ヲ明記ス

師團長	參謀長	高級副官	主任	部	付
○	○	○	○	○	○

石師副人恩第五一號

陸軍

沖繩縣出身將兵ニ對ス戰時死亡者報告靖國神社合祀恩典(退職普通)賞與書類ニ敍位敍勳上申資料送付ニ關スル件照會

昭和二十年二月二十七日 石第一八八部隊參謀長

東部軍留守部長殿(球第六六部隊參謀長参考)

隸下部隊ニ於ケル沖繩縣出身將兵ニ對スル戰時死亡者報告靖國神社合祀恩典(退職普通)賞與書類ニ敍位敍勳上申資料ヲ昭和十九年陸軍普第一四三五號留守業務規程ニ基キ賞留守部經由ニテ沖繩聯隊司令部ニ送付スルトキハ順調ナル場合ニ在リテモ二月餘ノ時日ヲ要シ又海没ノ虞對カラザル現下ノ狀況ニ當兵團カ沖繩本島ノ防衛ニ任シタル等ノ特異ノ環境ヲ考慮シ之カ關係書類ノ送付ニ關シテハ左記ニ依リ實施致度意向ナルモ貴意承リ度照會ス

石師副人恩第五一號
 陸軍
 沖繩縣出身將兵ニ對ス戰時死亡者報告靖國神社合祀恩典(退職普通)賞與書類ニ敍位敍勳上申資料送付ニ關スル件照會
 昭和二十年二月二十七日 石第一八八部隊參謀長
 東部軍留守部長殿(球第六六部隊參謀長参考)

左記

- 一、恩典書類ハ各一部貴部ニ送付スルノ他留守業務規程第十
八條一ノニ示ス所要部数ヲ沖繩聯隊區司令部ニ直送ス
- 二、退職(普通)賞與調書ハ一部ヲ留守部ニ送付スル他一部ヲ
沖繩聯隊區司令部ニ直送ス
- 三、銜位銜數上申資料ハ一部ヲ留守部ニ送付スル他一部ヲ沖
繩聯隊區司令部ニ直送ス
- 四、昭和十九年陸軍第七六號第二條ニ依リ戰時死亡者生死不明
者ノ通牒ハ一部ヲ留守部長ニ他ニ同文ノモノヲ沖繩聯隊區
司令官宛直送ス(沖繩縣出身將兵ノ死者ノ遺骨ハ死亡ノ月
若クハ其ノ翌月中ニ遺族ニ交付セラルモ死亡ノ公文ヲ留守部
經由スルトキハ更ニ其ノ翌月トナシテハ沖繩聯隊區司令官ヨリ
遺族ニ傳達セラレス)
- 五、清國神社合祀上申書類ハ直接沖繩聯隊區司令部ニ送付

陸軍

ス、他ニ其ノ旨留守部宛通牒ス
 六、前五項ノ書類ハ總テ當司令部ヲ經由シ貴部宛書類ホ
 書ニハ沖繩聯隊區司令部ニ直送セシ書類ノ發翰年月日
 發翰番號、書類内容ヲ明記ス

付	部	任主	副級高	長謀參	長圖師
水村			五	上	

11

石師副人恩第二五九號

沖繩縣出身將兵ニ對スル恩賞ニ留年業務關係
書類送付ニ關シ照會ニ付一頁
昭和三十年二月二十七日 石第一八八部隊參謀長
球第一六六部隊參謀長殿
首題ノ件ニ關シ別紙ノ如ク東部軍留年部長宛照會セ
ニ付直牒ス

陸軍

左記
恩典書類ハ各一部貴部ニ送付スルノ他留年業務規程第十
八條一ノニ示ス所要部數ヲ沖繩聯隊區司令部ニ直送ス
一 退職(普通)賞與調書ハ一部ヲ留年部ニ送付スル他一部ヲ
沖繩聯隊區司令部ニ直送ス
二 殺位殺敷上申資料ハ一部ヲ留年部ニ送付スル他一部ヲ沖
繩聯隊區司令部ニ直送ス
三 昭和十九年陸軍第七六號第二條ニ依リ戰時死亡者生死不明
者ノ通牒ハ一部ヲ留年部長ニ他一同文ノモノヲ沖繩聯隊區
司令部宛直送ス(沖繩縣出身將兵ノ死者ノ遺骨ハ死亡ノ月
共發給者ノ書類ニ添付シテ送付スルモ死亡ノ公文ヲ留年部
ニ送付スルハ別紙ノ如ク) 遺骨ハ死亡ノ月共發給者ノ書類
ニ添付シテ送付スルモ死亡ノ公文ヲ留年部ニ送付スルハ別
紙ノ如ク) 遺骨ハ死亡ノ月共發給者ノ書類ニ添付シテ送付
スルモ死亡ノ公文ヲ留年部ニ送付スルハ別紙ノ如ク)

付	部	任主	副級高	長謀参	長團師
○	○	○	○	○	○

后師副人恩第二六一號

事實證明書送付件通牒

昭和二十二年三月二日 第六十二師團司令部

津聯隊區司令部御中

昭和十九年津恩傷第四〇號ヲ以テ照會ニ係ル左記者ニ對スル首題、
件別紙通送付ス

左記

陸軍一等兵 小林健次

和團長	奉給長	高副官	主封	格	林
○	○	○	○	○	○

見與書類各一部實部ニ送付スルノ他留守業務規程第十
八條一ノニ示ス所要訓教ヲ神總聯隊區司令部ニ直送ス
根拠(普通)實與調書八部ノ留守部ニ送付スル他二部ノ
中總聯隊區司令部ニ直送ス

支隊長上申實部八部ヲ留守部ニ送付スル他一部ヲ神
總聯隊區司令部ニ直送ス

三三師團司令部ニ直送ス

前記ノ如ク、昭和二十二年三月二日、津聯隊區司令部ニ
送付スル事實證明書ニ係ル者、其ノ中、陸軍一等兵小林健次
ノ名ニテ、津恩傷第四〇號ニ記載スル者、其ノ首題、
件別紙通送付ス

左記

陸軍一等兵 小林健次

陸軍



陸軍一等兵 小林健次
 昭和十八年三月三日ヨリ石太線及同蒲線西側地區、敬言備
 昭和十八年三月十六日
 中華民國山西省平定縣陽泉

陸軍

事實證明書

本籍地
 現住所



獨立混成第四旅團砲兵隊第一中隊

昭和七年徵集

陸軍二等兵 小林健次

内地港灣出發年月日

昭和十八年二月二十五日 (下關港出帆)

事變地到着年月日

昭和十八年三月三日 (平定縣陽泉到着)

勤務概要

昭和十八年三月三日ヨリ石太線及同蒲線西側地區、敬言備

發病年月日

昭和十八年三月十六日

發病場所

中華民國山西省平定縣陽泉

一病名

一發病狀況

本症、補備教育訓練中、昭和十八年三月十六日ヨリ、西膝關節、疼痛、
 又、訴、同月二十日受診ス

初診時体温三七二度脈膊入口至心臟雜音著明シテ關節部腫張ナキモ自發痛楚一壓痛著明ナリ 隊治ニ依リ關節痛ハ消失シタルモ尚精査ノ目的ヲ以テ入院ス

右發病ノ原因ヲ探究スルニ本人ハ二年前ニ心内膜炎ニ罹患シテ其間醫治ニ依リ全治シ昭和十八年十一月十五日第一線補充部隊要員トシテ入營シ入隊時細密身體檢査ニハ認めヘキモノナク渡支ヲ目前ニ控ヘテ日夜猛烈ナル教育訓練ニ從事セル傍二月二十三日頑健ナル體軀ヲ以テ勇躍征途ニツキ下關港ヨリ船舶輸送ノタメ繁劇ナル荷物ノ搭載作業ニ從事シ亦對空警戒歩哨荷物監視等ニ服シ出帆スルヤ風浪待ニ嵐ノ動搖激シシ一入寒氣嚴シキ甲板ニ於テ對空對潛警戒歩哨ニ服シ兵員ヲ載セル船艙内ハ狹隘ニシテ換氣採光採暖設備ナク船艙下部ニ馬匹等盛載シアリテ空氣惡染ノ度甚シキ中ヲ搭載荷物ノ監視不審番等ニ服シ釜山ニ上陸スルヤ卒先荷物ノ卸下貨物列車ハ搭載ニ從事シ其間對空警戒銃前哨荷物監視等ニ從事シ出發スルヤ

一 手訂正

長途列車輸送間備兵ニ服務シ列車運行ニ伴ヒ職務兵員間亦此地ニ於テハ歩哨ヲ増加スル等本人過勞ヲ介意スルコトナク積局的ニ服務セリ
二月五日山西省平定縣陽泉ニ到着スルヤ酷寒肌ヲ刺スカ如ク亦氣候風土ニ変ナル地ニ在リテ長途輸送ノ過勞モ癒スル暇ナク直ニ第一線ニ於テ作戦行動ニ應スル過劇ナル教育訓練ニ從事スル傍積雪尺余ノ中夜間精習ニ亦雨中ノ猛演習等ニ專念シ敵情惡化ニ伴ヒ部隊主力ハ再三出撃討伐等間重ナル分哨勤務及旣當番不審番等ニ服シ疲勞因慮其極ニ達スモ給與糧秣補給圓滑ナラザルタメ粟高粱等ノ混食給與ニシテ休養設備不備ナル支那家屋ヲ利用セル等ニ依リ不知不識ノ間體力減退シ遂ニ病魔ノ侵ストコロナリ發病セルモノニシテ眞ニ公務ニ起因セルモノト認ム

右證明ス

昭和十八年四月九日

獨立混成第百旅團砲兵隊長 陸軍中佐 春日
獨立混成第百旅團砲兵隊附 陸軍中尉 島

靜 弘島